

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと沼津新築工事(立体駐車場A棟)	階数	地上5F
建設地	沼津市東椎路字東荒304番地3 他100筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2019年7月18日
敷地面積	8,075 m <sup>2</sup>	作成者	神道浩
建築面積	3,974 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	19,501 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

標準計算  
①参照値  
②建築物の取組み  
③上記+②以外の  
④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア= 0.0	Q2のスコア= 2.7	Q3のスコア= 2.5
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 2.5, 対応性: 2.9	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

**LR のスコア = 2.7**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 0.0	LR2のスコア= 2.9	LR3のスコア= 2.6
建物外皮の: N.A., 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: N.A.	水資源: 2.2, 非再生材料の: 2.6, 汚染物質: 4.4	地球温暖化: N.A., 地域環境: 2.8, 周辺環境: 2.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	-	
<b>Q1 室内環境</b> ・評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内装材採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> ・特に無し	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される